

## 事実婚関係及び生計同一関係に関する申立書

## 1 別世帯になっていた理由

※①と②は同居していたが別世帯となっていた場合には記入

---

---

---

---

---

## 2 同居についての申立（別居していたことの理由）

※①と②の住民票上の住所が異なっていた場合には記入

---

---

---

---

---

## 3 経済的援助についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ ②から①に対する経済的援助の有無（あり・なし）

㊧ 上記㊦で「あり」の場合にはその回数（年・月 約 \_\_\_\_\_ 回程度）

㊨ 経済的援助の内容

---

---

---

---

---

---

---

**4** 定期的な音信・訪問についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ 音信の手段 ( )

㊧ 訪問回数 (年・月・週 約 \_\_\_\_\_ 回程度)

㊨ 音信・訪問の内容

---

---

---

---

---

**5** 婚姻の意思及び夫婦として共同生活を営んでいたことの申立

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

私は、下記②の者が亡くなった当時、戸籍簿上の婚姻関係にはありませんでしたが、共に婚姻する意思を持って、夫婦としての共同生活を営んでいたため、生計を同じくしておりました。

① 請求者の住所、氏名

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

② 配偶者の住所（亡くなった当時）、氏名

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

**6** 第三者による証明欄

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

上記 ① ~ ⑤ の事実に相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

日本年金機構理事長 殿